＊長崎民医連第 43 回学術運動交流集会＊　＊20211024＊

青葉苑会場

10 月 24 日 2 年ぶりとなる長崎民医連学術運動交流集会を開催しました。今年はコロナ禍での開催ということで初のオンライン開催となりましたが、コロナ禍でいろいろなことを積み上げてきた成果が生かされ、また共有された学運交となりました。

記念講演は、長崎の証言の会の山口響さん。「長崎原爆・核兵器と医療従事者」というテーマでご講演いただきました。被爆当時の医療従事者が置かれた環境はもとより、「何もできなかった」という自責の念を多くの医師や看護婦が証言していることや、戦後の医師・看護師の反核活動なども紹介されました。大浦診療所の被爆者医療のことなど、民医連の活動にも言及していただき、質問に応えるかたちではありましたが「被爆者は少なくなるが、戦後に診療所ではたらいていた先輩たちに話を聞くことはまだじゅうぶんできるのではないか」と活動への大きなヒントをいただきました。

後半は各事業所・友の会から 5 演題が発表され、特に上戸町病院の今村先生の発表では「コロナ禍での倫理面の葛藤をどう整理していくのか」という難しいテーマでしたが、みんなで乗り越えてきたことが根底にあり、多くの職員が共感を持って考えることができたのではないかと思います。感染対策への尽力に対しての感謝状と記念品も授与され、ほんわかとした時間もみんなで共有できました。

感想文提出をもっての参加としており、感想文の数が確定しなければ正確な参加者数は今のところ不明ですが、Zoom は 41 カ所からのアクセス、ライブ配信のリアルタイム視聴は 100 を超えましたので、200 名前後の参加はあったのではないかと思います。ご参加のみなさん、感想文を忘れないようにご提出くださいね。また、参加できなかった職員のみなさんも YouTube でみることができますので、お時間のある時にご覧ください。←こちらの QR コードからどうぞ。（県連事務局・川尻）